



2013年度(2014年 3月期) 第1四半期 決算説明会

2013年 7月31日

セイコーエプソン株式会社

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。

そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新商品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。

なお、業績等に影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

■ 本説明資料における表示方法

数値： 表示単位未満を切り捨て

比率： 千円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入

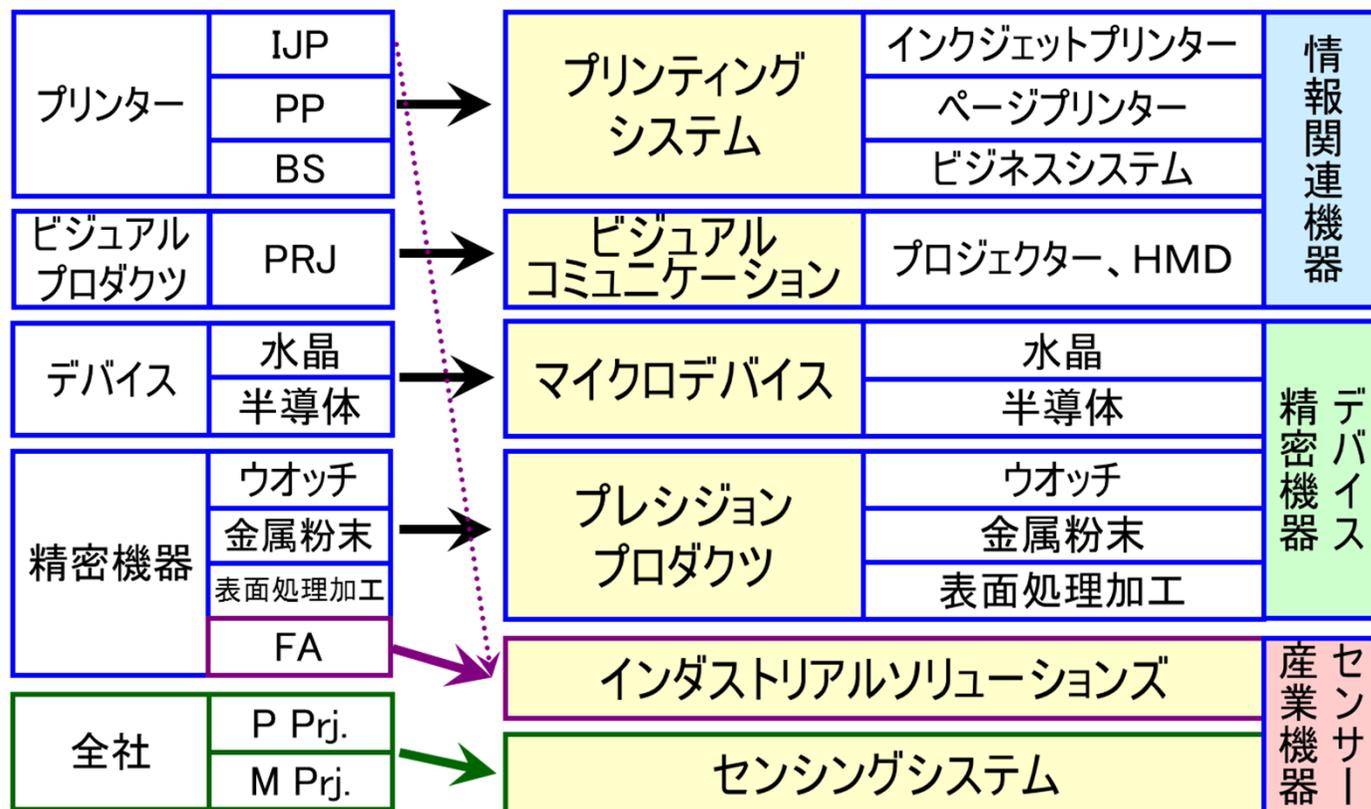
開示セグメントの変更について

SE15後期 新中期経営計画の事業戦略にもとづき、
将来にわたっての成長領域を再定義するとともに各領域における取組みを、
より明確にして加速させるために、2013年度から組織体制を整える

2012年度セグメント

2013年度セグメント

事業名称 含まれる事業 開示セグメント



* P: パーソナル、M: モーション

- 2013年度予想の比較説明においては、2012年度のセグメント損益もあわせて補正
- 事業譲渡をした光学事業は、「全社セグメント」に含まれる

1) 2013年度 第1四半期決算

2) 2013年度 業績予想

決算ハイライト（第1四半期決算）

(億円)	2012年度		2013年度		増減	
	1Q実績	%	1Q実績	%	増減額	増減率
売上高	1,863	-	2,201	-	+338	+18.2%
営業利益	△161	-8.6%	80	3.6%	+241	-
経常利益	△164	-8.8%	48	2.2%	+213	-
税引前利益	△319	-17.1%	32	1.5%	+351	-
四半期純利益	△344	-18.5%	1	0.1%	+345	-
EPS	△192.67円		0.70円			
換算 レート	USD	80.20円	98.76円			
	EUR	102.91円	128.95円			

- 情報関連機器、デバイス精密機器を中心に堅調、円安効果もあり売上高、ならびに各段階利益において計画を上回った

情報関連機器セグメント

インクジェットプリンター事業

- 日本、欧州市場回復遅れ、北米のチャネル納入期ずれで本体数量計画未達
- 北米におけるオフィス向けは堅調、新興国向け大容量インクタンクモデルは計画比増
- 消耗品売上は日本未達、一方で欧州堅調、北米はオフィス向け本体のMIF増加の効果により計画比増
- 本体価格施策の継続推進もあり、売上高・営業利益ともに計画を上回った

ビジネスシステム事業

- SIDMは中国徴税需要が戻る中で、生産遅れによる供給不足
- POS関連製品は、中国市場の成長鈍化などの影響
- 為替効果により売上高は上回ったものの、営業利益は計画並み

ビジュアルコミュニケーション事業

- プロジェクター市場は欧州を中心に前年割れ
- 当社も欧州や中国などを中心に販売数量は計画未達
- 価格維持、モデルミックス改善、為替効果により売上高・営業利益ともに計画を上回った

デバイス精密機器セグメント

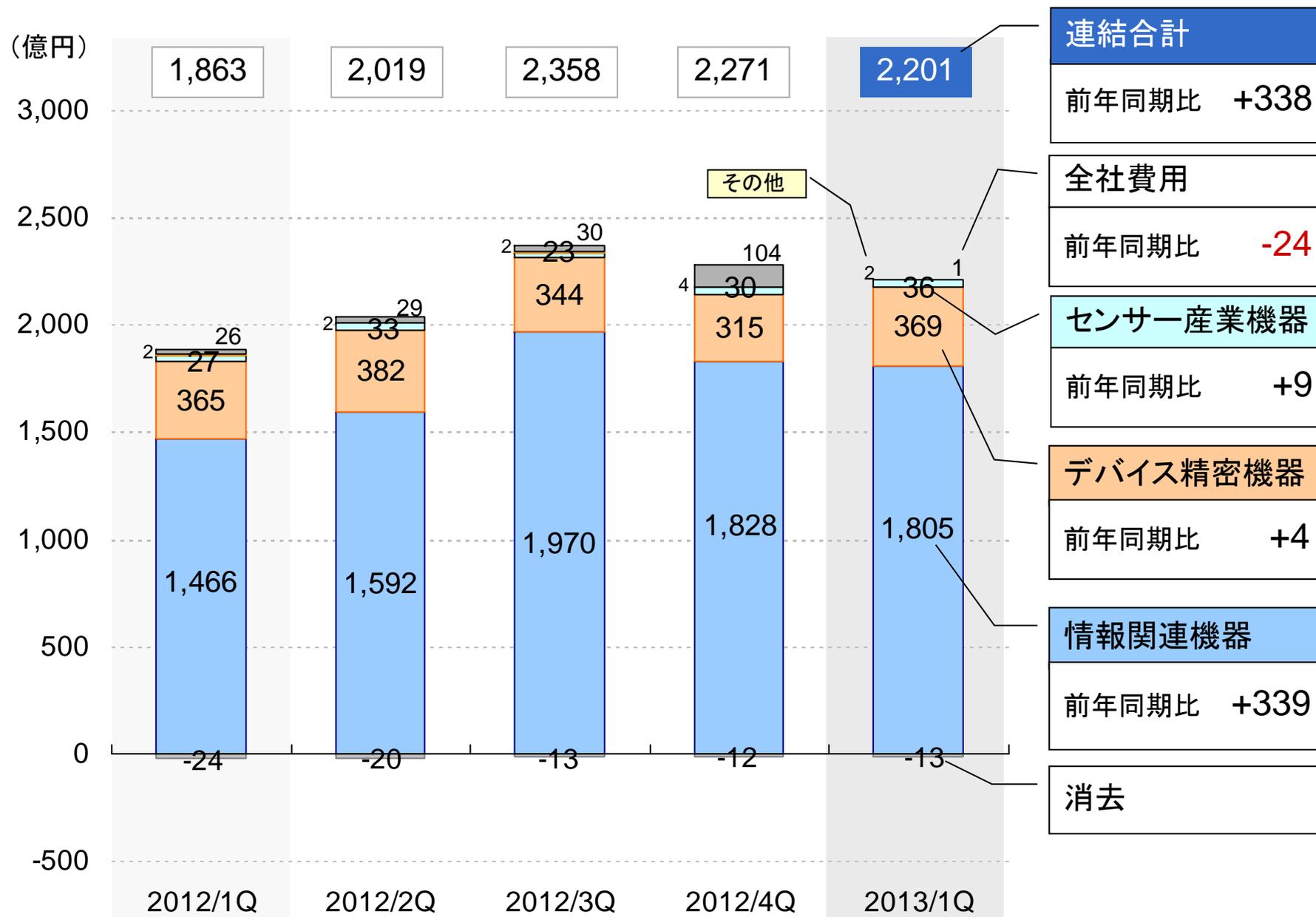
マイクロデバイス事業

- 水晶は計画並み、半導体はモノクロドライバーの需要が堅調に推移

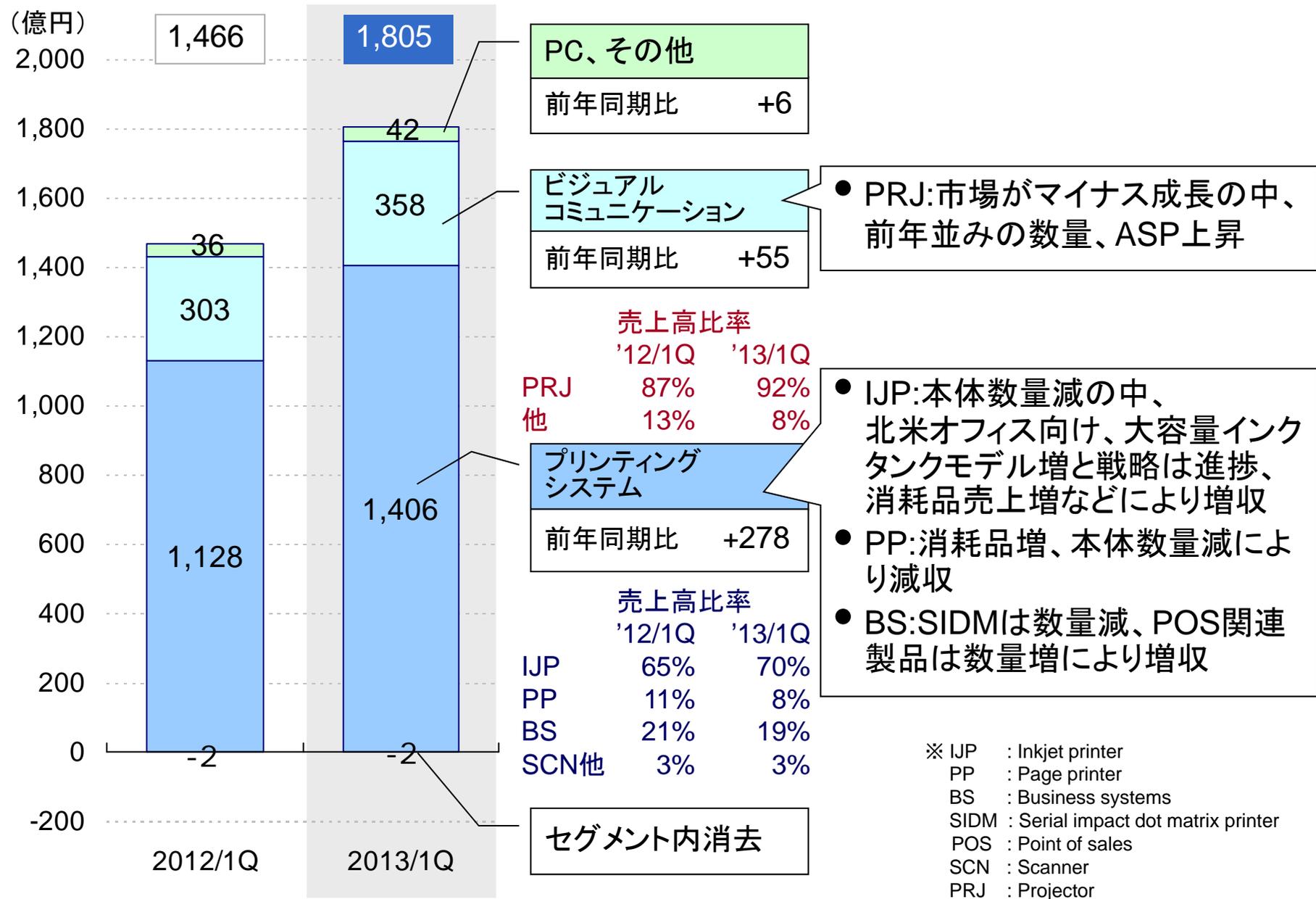
プレシジョンプロダクツ事業

- ウォッチにおいて高価格帯のブランド完成品が計画比増で推移

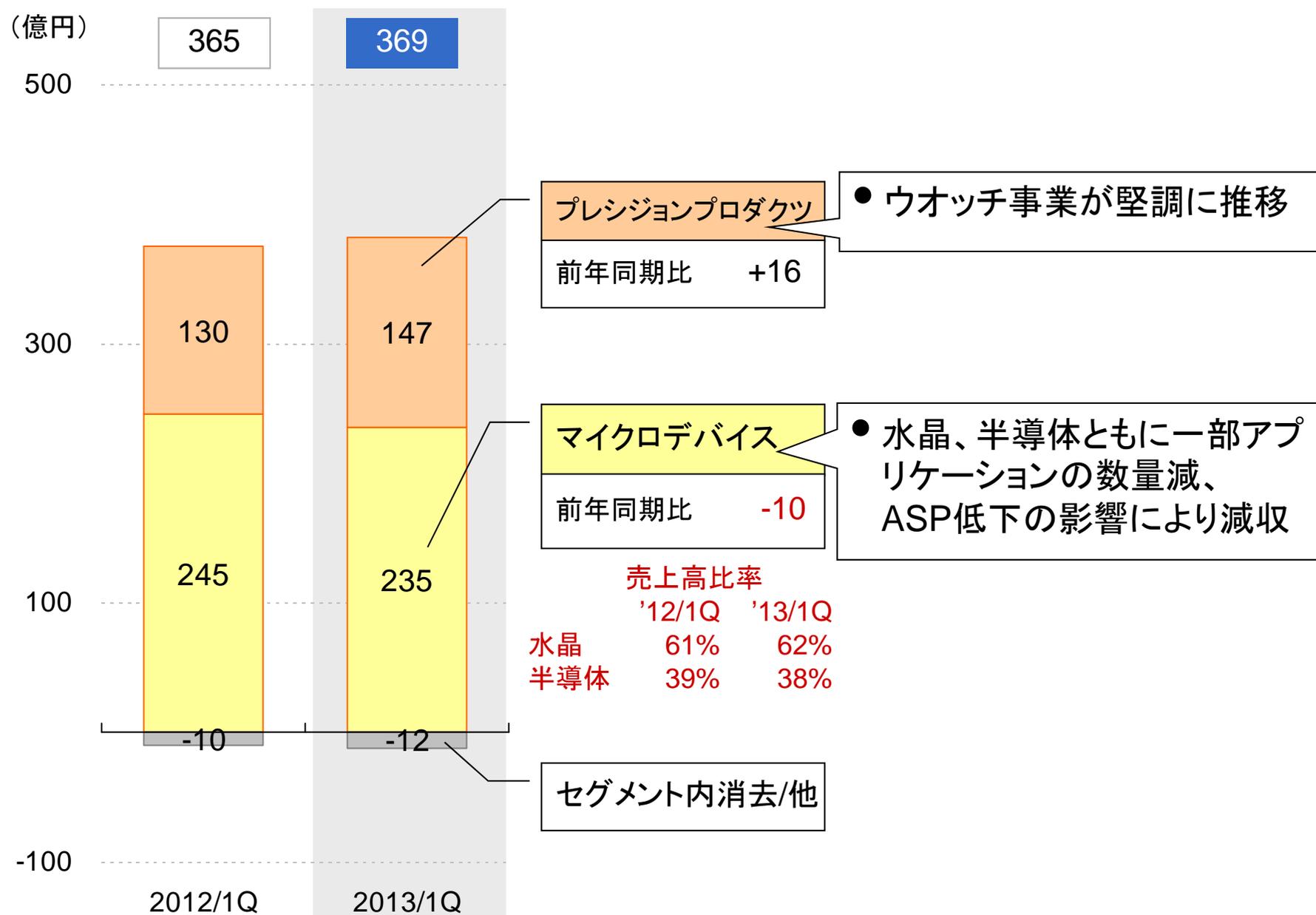
四半期売上高推移 ▶ 事業セグメント別



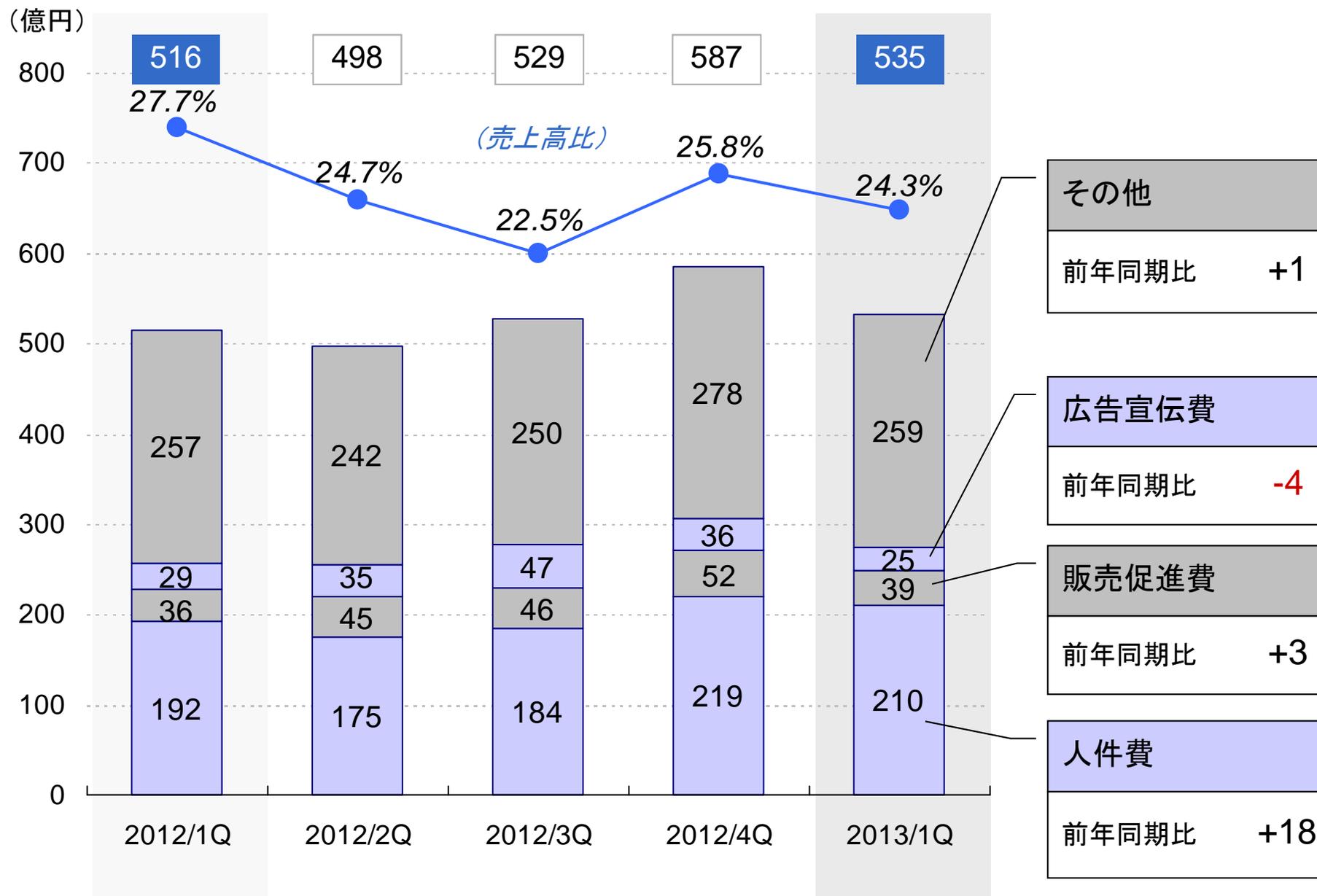
四半期売上高比較 ▶ 情報関連機器セグメント



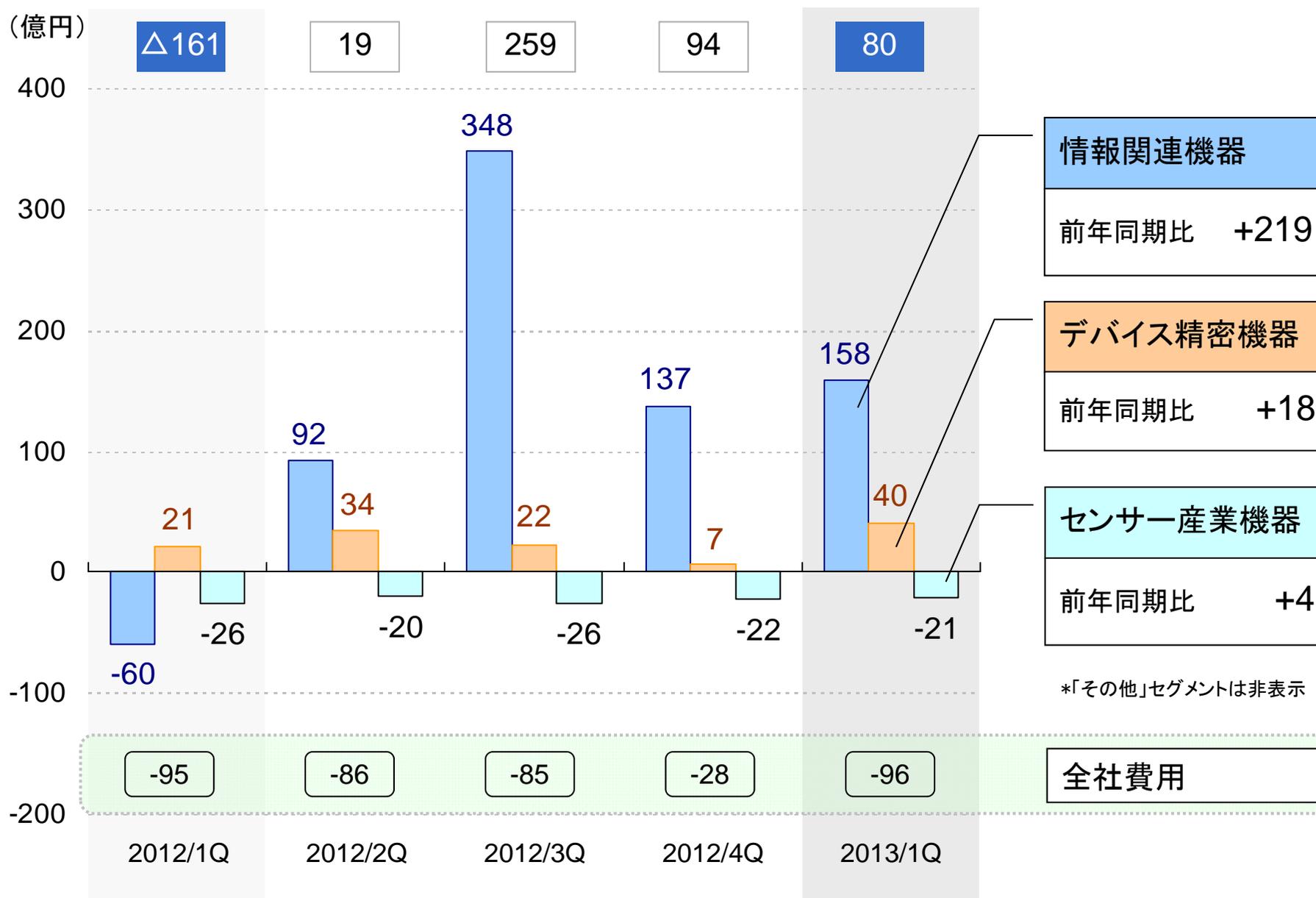
四半期売上高比較 ▶ デバイス精密機器セグメント



四半期販売費及び一般管理費推移

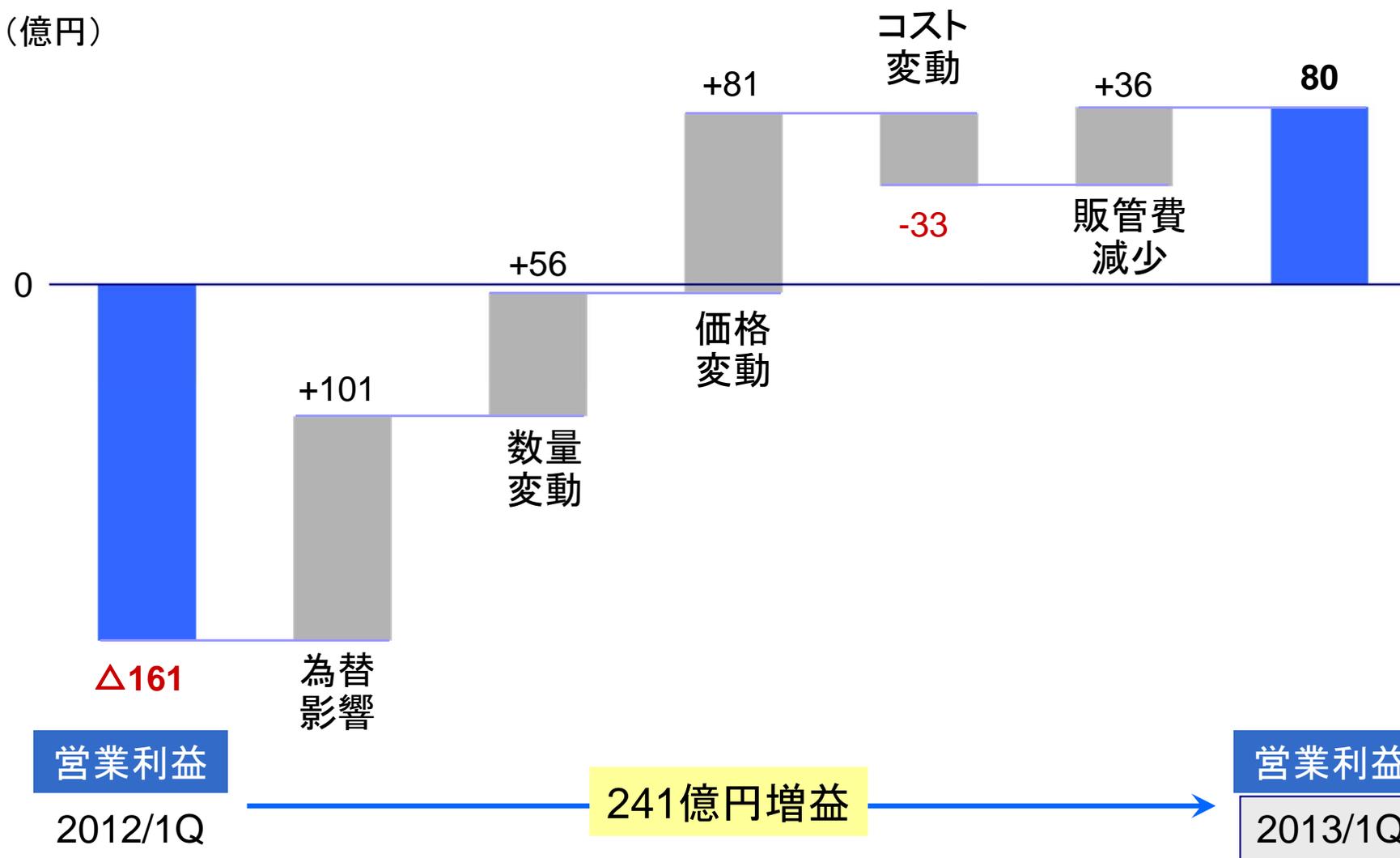


四半期営業利益推移 ▶ 事業セグメント別



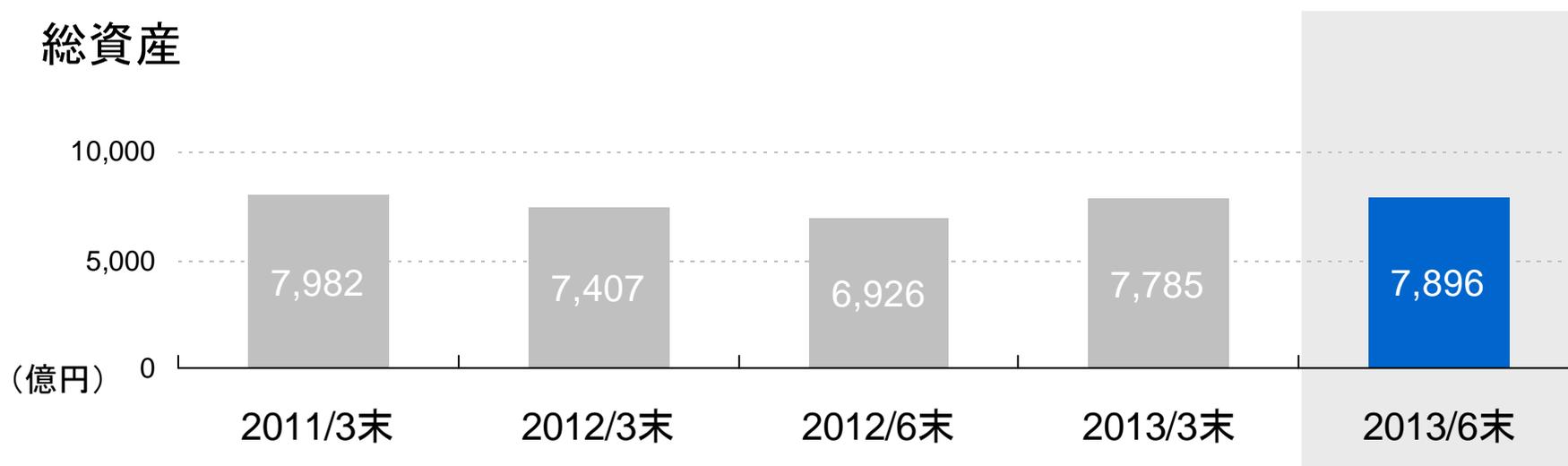
營業利益增減要因分析

(億円)

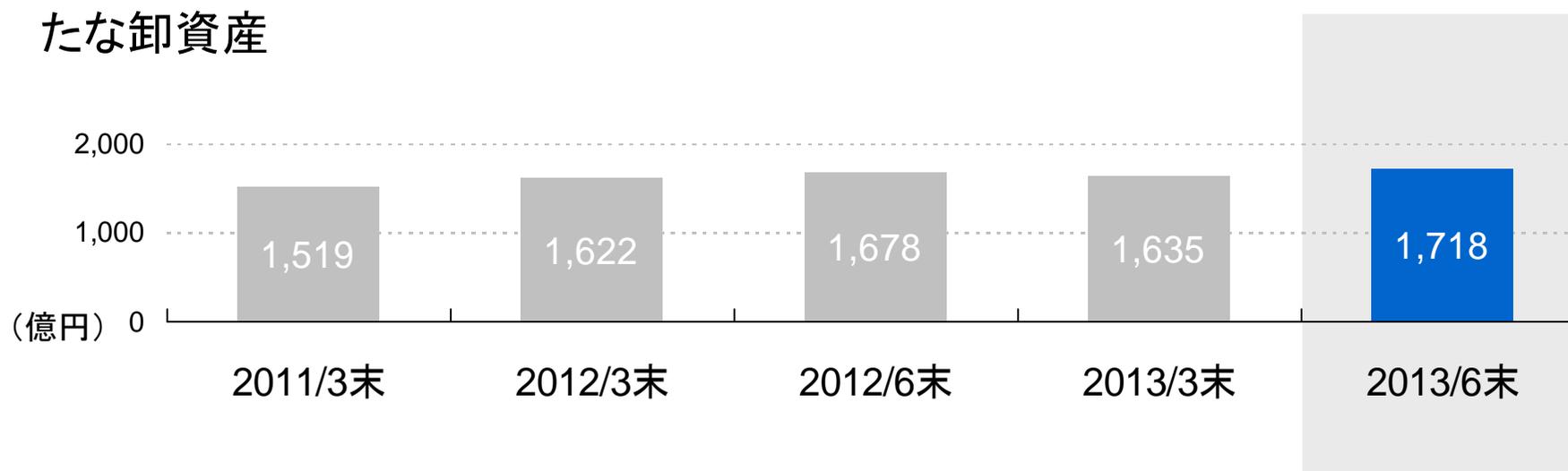


貸借対照表主要項目推移

総資産

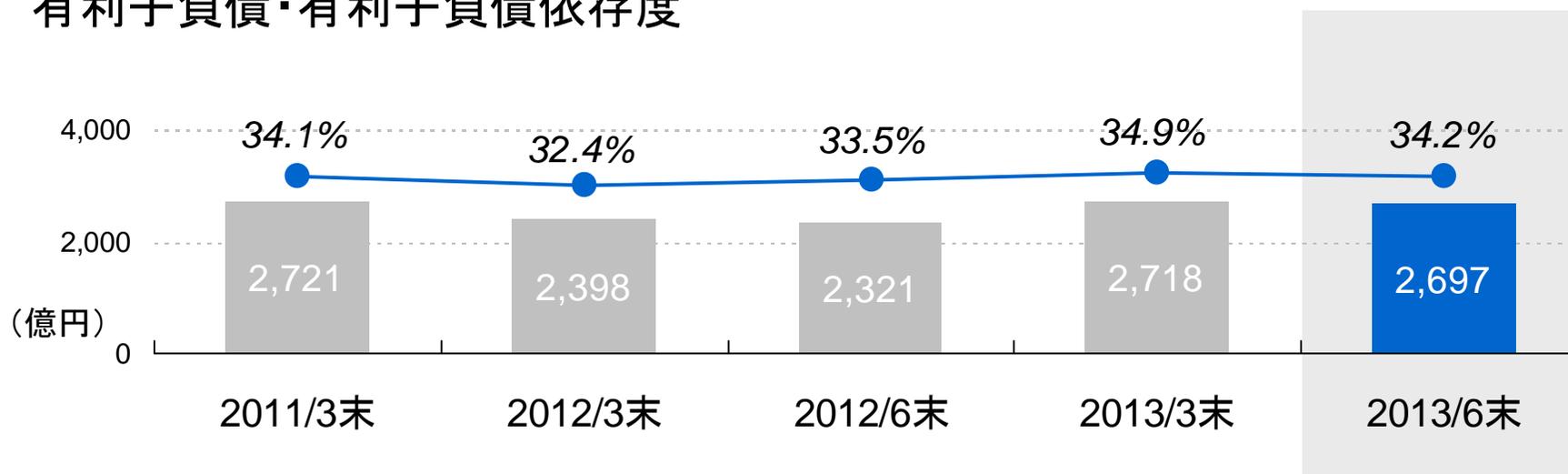


たな卸資産

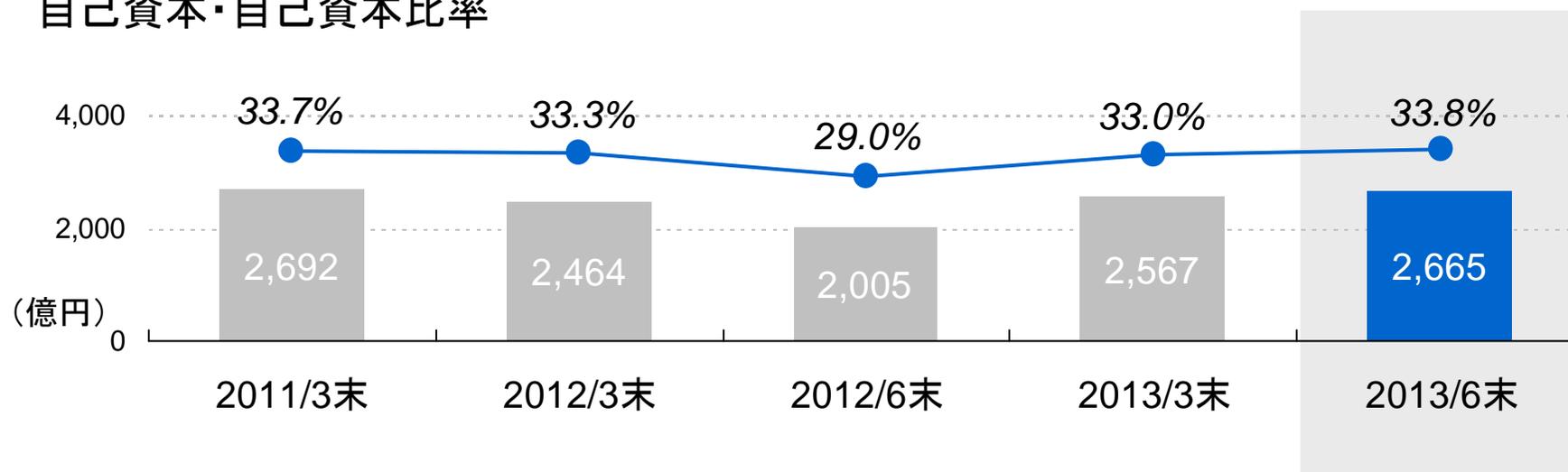


貸借対照表主要項目推移

有利子負債・有利子負債依存度



自己資本・自己資本比率



*有利子負債:リース負債を含む

*自己資本:純資産合計-少数株主持分

1) 2013年度 第1四半期決算

2) 2013年度 業績予想

2013年度業績予想

(億円)	2012年度		2013年度				増減額 / 増減率	
	実績	%	4/30予想	%	今回予想	%	前期実績比	4/30予想比
売上高	8,512	-	9,100	-	9,300	-	787 +9.2%	+200 +2.2%
営業利益	212	2.5%	330	3.6%	370	4.0%	+157 +74.1%	+40 +12.1%
経常利益	176	2.1%	300	3.3%	330	3.5%	+153 +87.2%	+30 +10.0%
税引前利益	△34	-0.4%	230	2.5%	260	2.8%	+294 -	+30 +13.0%
当期純利益	△100	-1.2%	130	1.4%	150	1.6%	+250 -	+20 +15.4%
EPS	△56.41 円		72.67 円		83.85 円			
換算 レート	USD	83.11 円	90.00 円		92.00 円			
	EUR	107.14 円	120.00 円		122.00 円			

今回予想
2Q以降の予想前提レート

USD: 90.00円
EUR: 120.00円

第2四半期以降の業績予想に以下の要素を織り込む

インクジェットプリンター事業

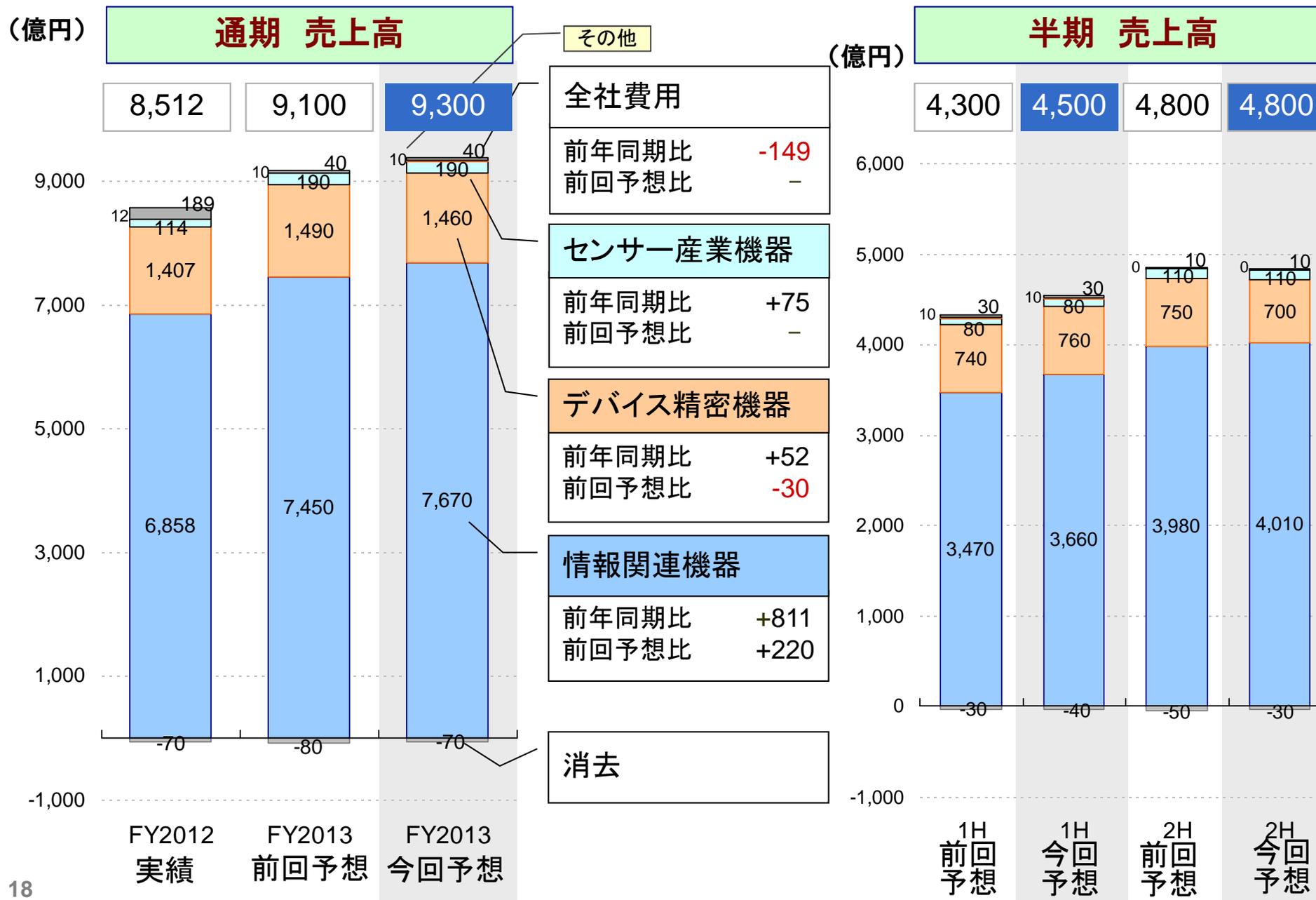
- 価格施策を堅持し収益性を維持しつつ以下の施策を推進
 - ✓ 好調な大容量インクタンクモデルの販売数量を拡大
 - ✓ 消耗品売上に貢献するオフィス領域のMIFを拡大

その他の事業

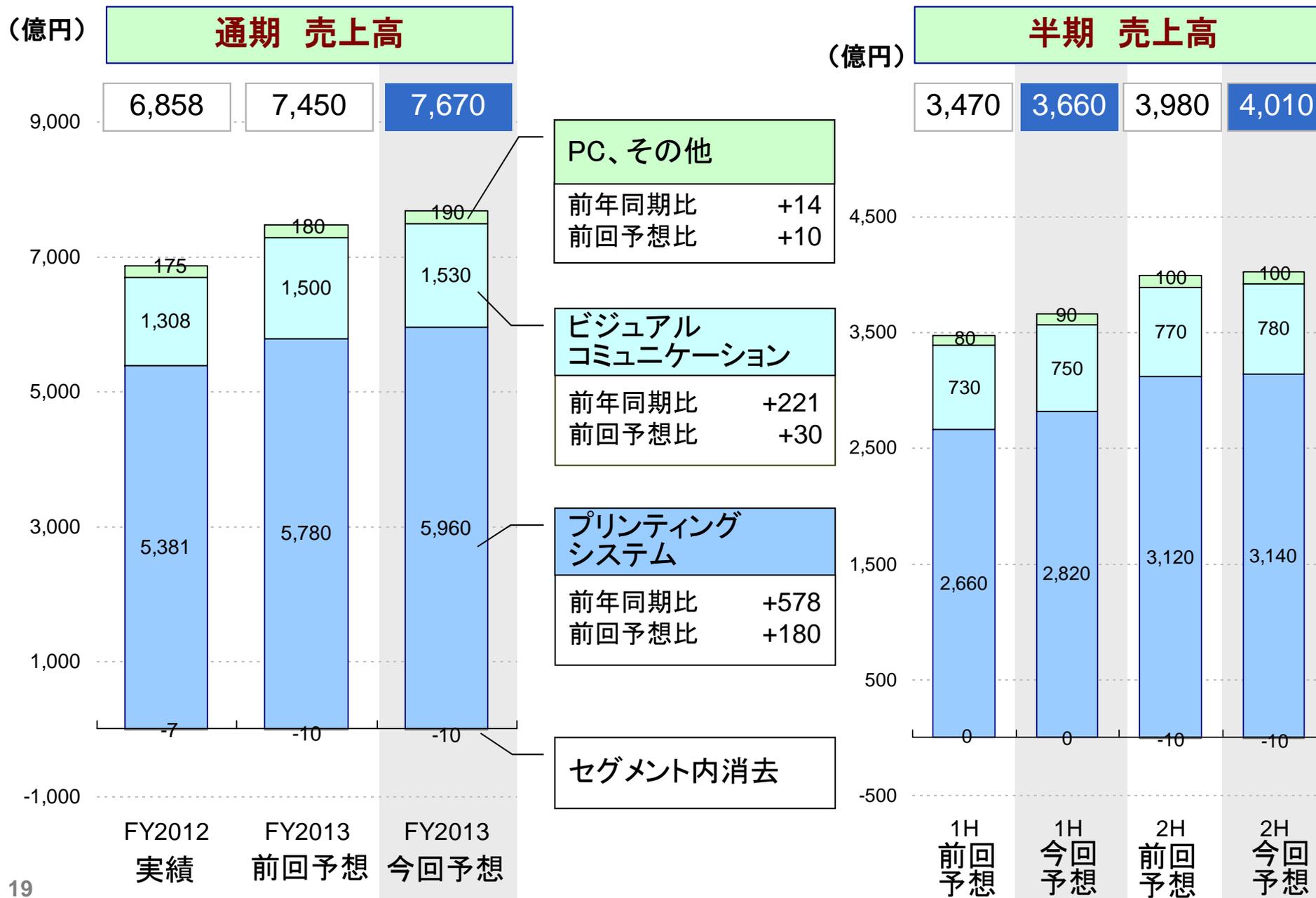
- 中国の成長鈍化および欧州の回復遅れの影響、スマートフォンやDSCなどの需要減退の影響を織り込む

- 上期: 売上高・営業利益ともに上方修正
～ 第2四半期は前回予想並みを想定
- 下期: 売上高は据え置き、各段階利益は下方修正
- 通期: 上期上方修正を受け、売上高・各段階利益を上方修正

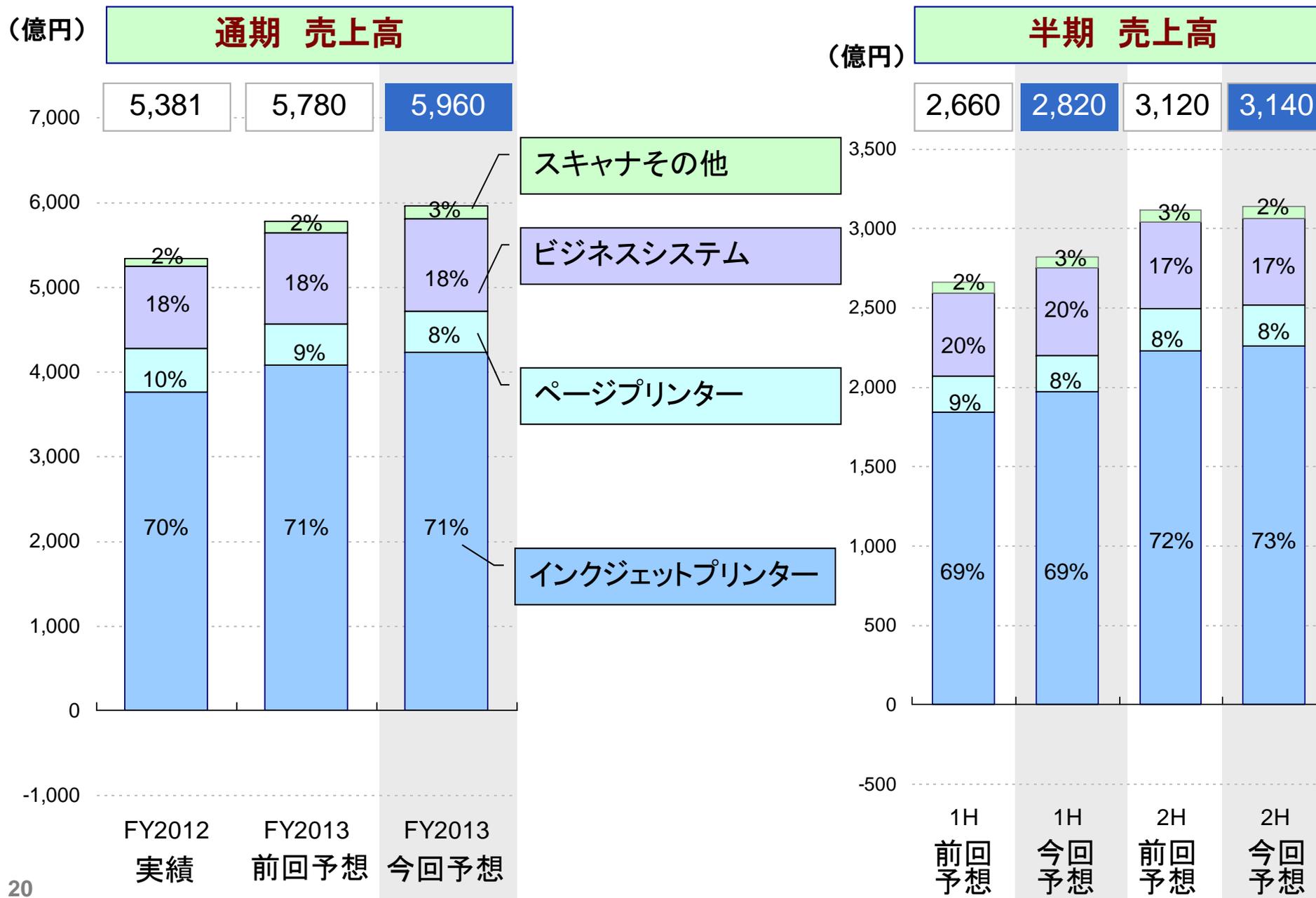
2013年度業績予想(売上高)▶事業セグメント別



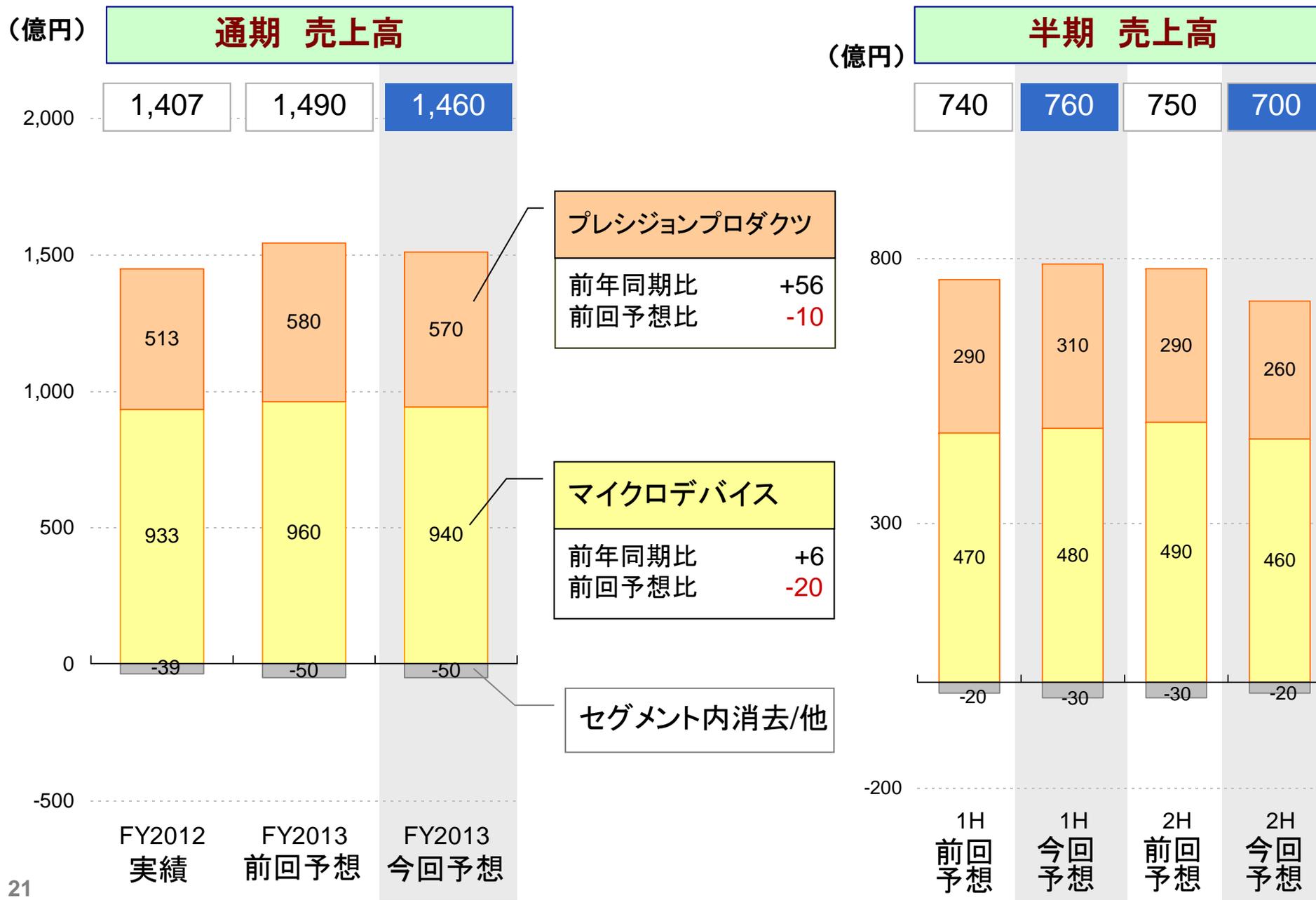
事業別売上高予想 ▶ 情報関連機器セグメント



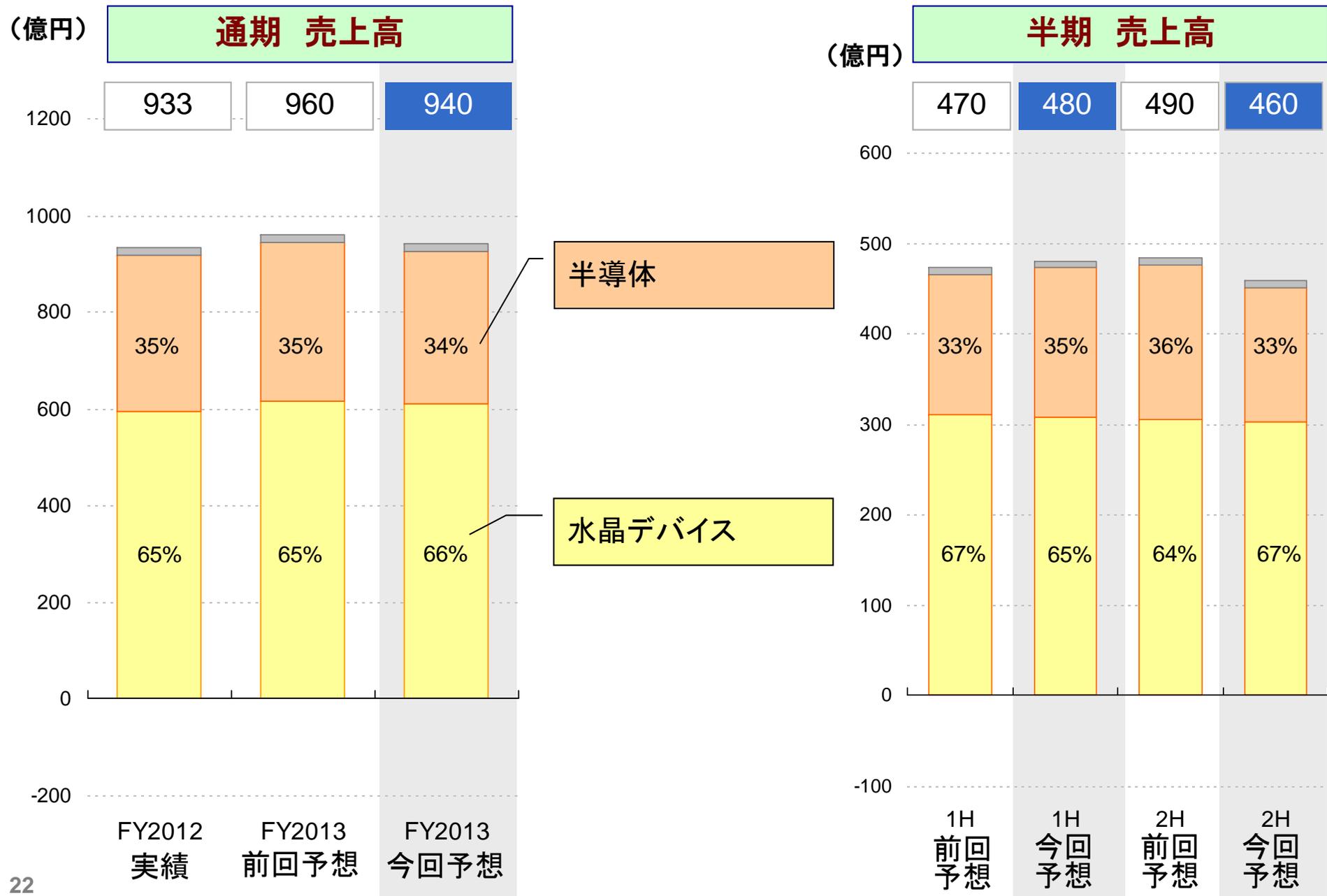
事業別売上高予想 ▶ プリンティングシステム事業



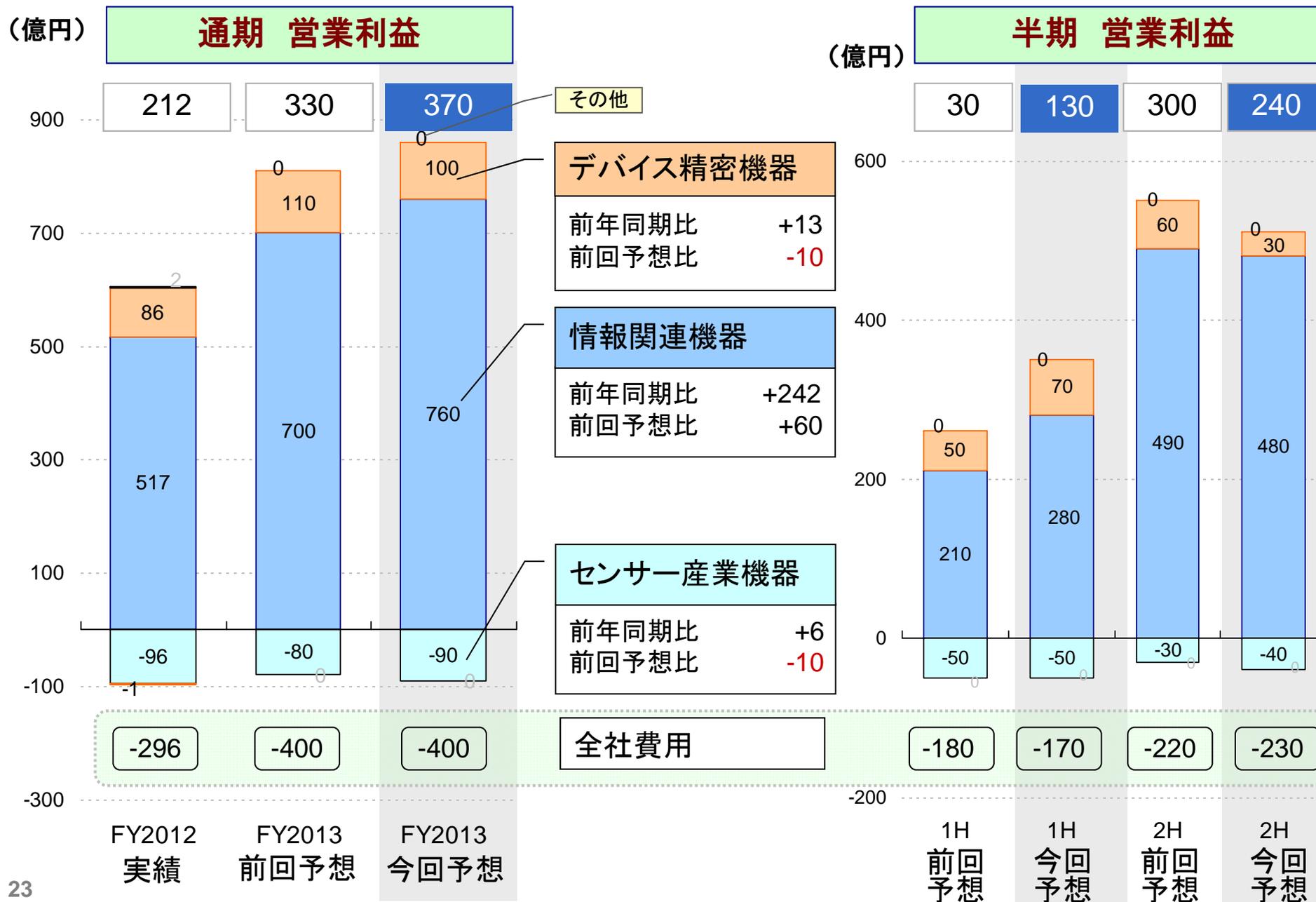
事業別売上高予想 ▶ デバイス精密機器セグメント



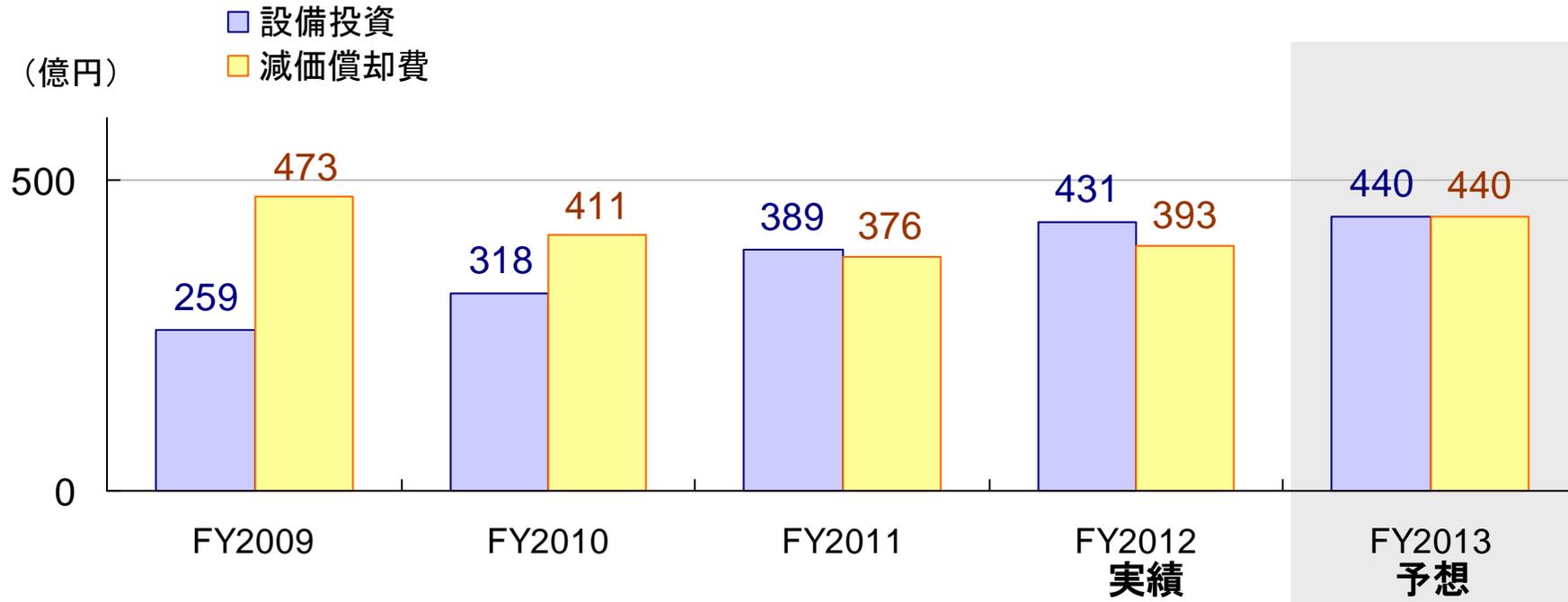
事業別売上高予想 ▶ マイクロデバイス事業



2013年度業績予想(営業利益)▶事業セグメント別



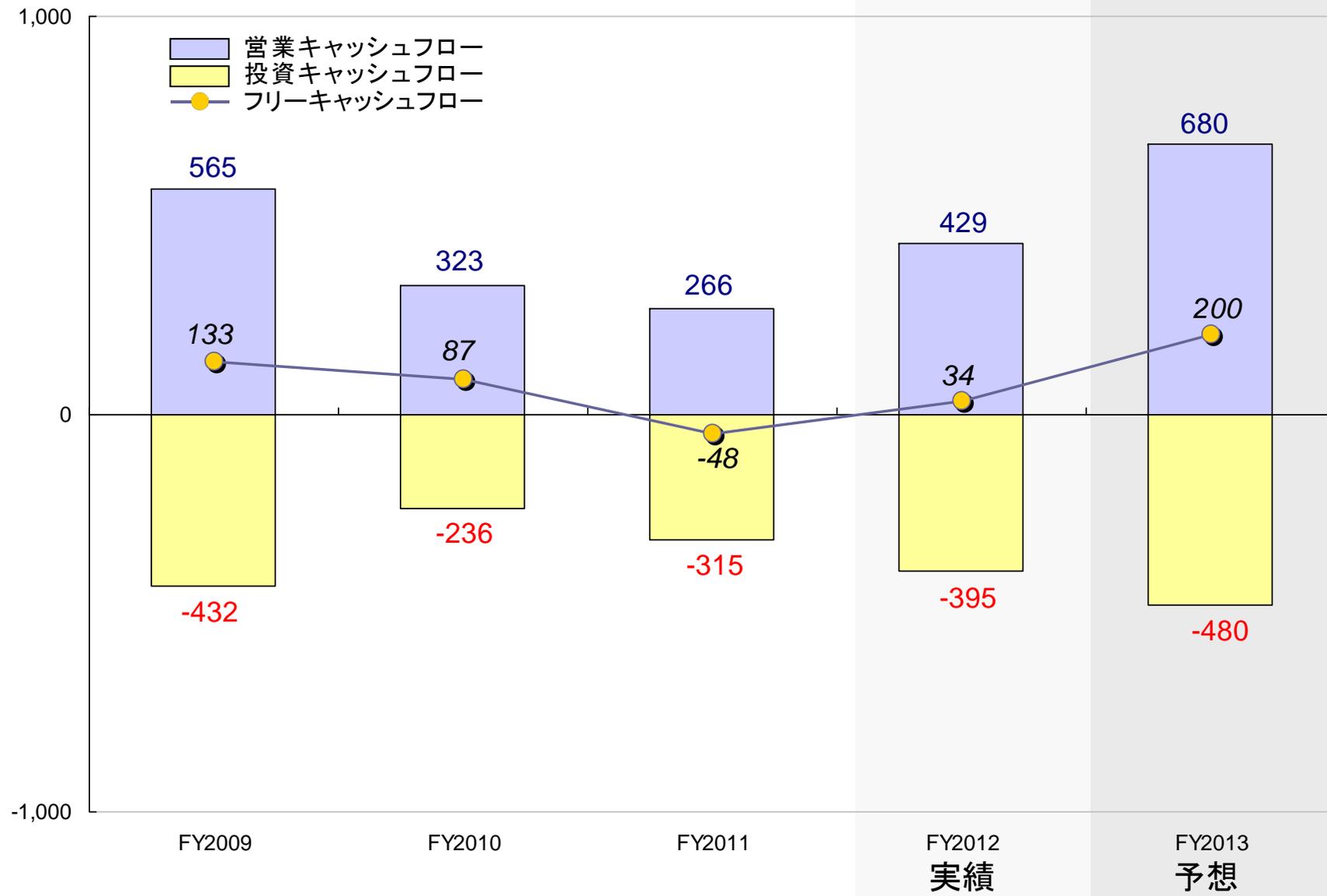
設備投資・減価償却費予想



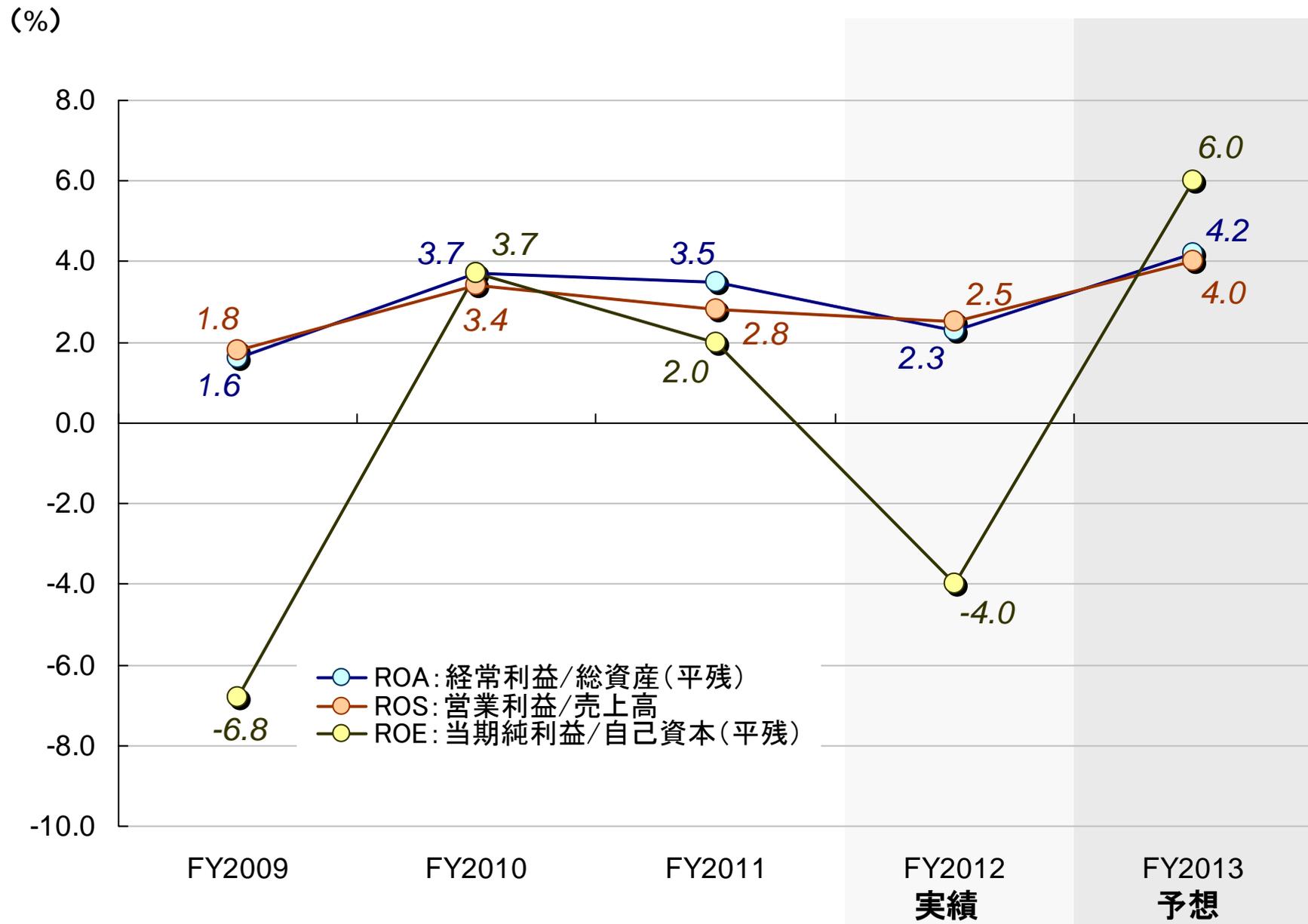
<セグメント別内訳>	FY2012実績		FY2013予想	
	設備投資	減価償却費	設備投資	減価償却費
情報関連機器	334	263	300	310
デバイス精密機器	67	80	110	90
センサー産業機器	5	5	10	10
その他・全社費用	24	43	20	30

フリーキャッシュフロー予想

(億円)



主な経営指標の推移



EPSON
EXCEED YOUR VISION